

## 解 答

- 問1 ① シャクシャイン：江戸時代に、アイヌの族長として反乱を起こした。  
② 栄西：鎌倉時代に、宋から臨済宗を伝えた。  
③ 千利休：安土・桃山時代に、茶道を大成した。
- 問2 夫の茶碗が妻のものより大きいのは、男女平等の考え方には合わないから。
- 問3 売ることを目的として栽培された商品作物
- 問4 漆器生産額のすべてが伝統的工芸品生産額でしめられ、企業数と伝統工芸士登録数が他の産地と比べて多くなっている。
- 問5 写真2 木の実などの貯蔵や煮炊きに使った。  
写真3 魔よけやまじないのために使った。
- 問6 益子 い 備前 こ 萩 け
- 問7 作業における専門性が高まり、品質が向上する点。  
作業に慣れることによって、生産の速さが増す点。
- 問8 カラツモノの呼び名が西日本から北陸に広まったのは、日本海を行き来する舟運が発達していたから。
- 問9 オランダを通じて、ヨーロッパへ輸出されていたから。
- 問10 陶磁器をつくる技術の流出を防ぐため。  
(朝鮮の文化の伝統を保つため。)
- 問11 解答例)  
せんいは、天然せんいのほか、化学せんいもつくられるようになり、おもに衣類の材料となっている。現代では航空機の機体や建築材にも利用される炭素せんいもある。  
解答例)  
さとうきびは、砂糖の原料として昔から食用に使われている。現代では、バイオ燃料の原料としても利用されている。
- 問12 解答例)  
使いやすさよりも品質の高さや美しさを追求することによって、器そのものが価値を持つようになっていった。そして、高い価値を持つ器を所有することが富や権力の象徴とみなされるようになり、道具とは異なった芸術品として扱われるようになった。